

事務事業名	《H25新規》女性議会開催事業		所属部局	市民部		単位番号	4186			
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みんなであらび推進課		課長名	次長 大芝久			
			所属担当	男女共同参画担当		担当者名	清水充			
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	03	市民参加システムの構築	事業区分	01	一般	02	01	08	020	08
施策	05	市政への直接参加システムの構築		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業	
				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみのみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠							
事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	・男女共同参画社会の実現を目指して、女性の視点から提案を行うことにより女性の市政への参画を積極的に推進し、多くの市民が市政やまちづくりについて一層理解を深めるため市と女連協が主催となり、一般公募者と女連協から推薦を受けた女性議員が女性議会を隔年で開催する。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	・平成25年11月16日(土)開催 櫛形生涯学習センター あやめホール ・女性議員20人(公募2人、市女連協推薦16人、芦安地区2人)		印刷製本費	200						
			筆耕翻訳料	84						
							計			284

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	市民からの公募議員と市女連協から推薦を受けた女性議員により、女性議会を開催する。
	26年度活動予定	隔年開催のため27年度に開催予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	女性議員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	女性の市政への参画を積極的に推進し、市政やまちづくりについて理解を深め女性の視点を市政に反映させる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	男女共同参画社会の実現を目指す。 女性の政策方針決定過程への参画とエンパワーメントが進む。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	女性議会開催回数	回
	イ		
	ウ		
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	女性議員数	人
	イ		
	ウ		
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	議会での一般質問件数	件
	イ	議会での関連質問件数	件
	ウ		
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
	ア	男女共同参画社会の実現に向けた活動について満足や満足と答えた割合	%
	イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
			(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	279		284		284		
	事業費計(A)	千円	279	0	284	0	284	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2		2		2		
	延べ業務時間	時間	100		100		100		
	人件費計(B)	千円	455	0	455	0	455	0	0
	(A)+(B)	千円	734	0	739	0	739	0	0
活動指標	ア	回	1.0		1.0		1.0		
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	20.0		20.0		20.0		
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	15.0		12.0		12.0		
	イ	件	11.0		10.0		10.0		
	ウ								
上位成果指標	ア	%	21.3		20.5		30.0		
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	女性の政策方針決定過程への参画拡大と多くの市民に市政やまちづくりに関心をもってもらうため、平成17年度に第1回が開催され、以降隔年で開催している。今回は、5回目の開催。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	国・県においても女性の政策方針決定への参画拡大を目標に掲げている。本市においても同様であり、女性の意識改革、市民への理解を深める必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	男女共同参画社会の実現を目指して開催している。女性目線から市政に対する意見、要望を提案するためには、より発言しやすい場づくりが必要。「女性議会」でなく、意見交換会・懇談会形式の設定も検討していく。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成23年度に多くの市民に傍聴してもらったため、議場での模擬議会開催からホールでの開催を行う。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	議員に若い世代の参加を得ることができた。

事務事業名	《H25新規》女性議会開催事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	-----------------	-----	-----	-----	--------------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市政に積極的に参加し、市政やまちづくりについて理解を深めることは、男女共同参画社会づくりの推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 男女共同参画社会づくりの推進は、国における取組みに加えて身近な地域社会から進める必要があるため妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 女性の市政への参画が低い状況であり、男女共同参画の視点から考えると妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 幅広い世代が参加しやすいような内容の見直しを行い、成果の向上を図る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 女性の市政へ参画の機会がなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 男女共同参画を推進するため
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 議会形式から内容を見直すことで事業費の削減が考えられる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 座談会等へ内容を変更することで事業にかかる人件費の削減になる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民からの公募や女連協未組織の芦安地区からも選出されているため公平・公正である。また、市として男女共同参画を進めている事業であり受益者負担を求めるものではない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・参加者からは非常に勉強になった等、肯定的な意見が寄せられている。議会に臨むにあたって、質問内容の検討・協議など、関係者と多くの時間を費やした経緯もあり、充実していた証である。 ・しかし、議会に質問者として参画できるのは限定的であり、幅広い世代の市民が参加しやすいような形態も考えていかなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ① 議会形式の内容から座談会等への検討もするが、論点が明確にならない恐れが生じ、深い議論もできないと思われる。議会形式においても、市政やまちづくりに関心を持ってもらうためには、質問事項が多岐にわたるような配慮が必要であり、質問者自身の視野が広がるようなアドバイスも必要である。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 執行部での反省を踏まえ、形態や内容について協議をしていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					